

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス キャッチボール 支援プログラム

作成日

令和7年

3月

15日

法人（事業所）理念		「共に学び」「共に考え」「共に成長していく」子供たちと共に大人たちも協力してみんなで支え合い、学び合いながら支援を行っていきます。						
支援方針		子供の発育の過程を、家族や関係機関と共に見守り支えて行きながら、発達の土台の形成をしていく。様々な経験や体験を積み重ねていく中で、社会性や自主性を身に付けていき将来の生活に繋がる機会の提供に努めていく。						
営業時間		14時	0分	17時	45分	まで	送迎実施の有無	あり
		支援内容						
本人支援	健康・生活	健康状態の確認や改善、生活リズムの形成や基本的な生活スキルを身に付ける(手を洗う・歯を磨く・排泄・身だしなみを整える・食事をよく噛んでゆっくり静かに食べる・食べられる物を増やす等) 個々の特性に合わせた支援をしていく。畑での作物作りの経験を少しずつしていきながら、収穫した素材を使っておやつ作りやランチ作りの機会を提供し、食育活動を積極的に取り入れていく。						
	運動・感覚	定期的な卓球を活用した運動療育・感覚統合・など力の加減や様々な体の感覚や感触、人との距離感を体験していき感覚の成長支援をしていく。バランスボールや様々なボール遊びを通じて、バランス感覚や力の加減などを覚えるとともに、運動能力の向上に繋げる。水・砂・粘土・絵の具等を使った感覚遊びを通して様々な素材の感触や匂い、音などを感じながら想像力や考える力を養う。色々な物を見たり触ったりして、手指の感覚を養ったり五感を育てていく。						
	認知・行動	個々の認知の特性に対しての理解と対応本人や外部環境の適切な認知と適切な行動が出来る為の支援や、強度行動障害への予防や対応の仕方を支援していく。物の大小・重さ・数・空間・時間・文字などの概念の形成を図り、認知や行動に活用できるように支援をしていく。落ち着いてよく見る・考える・苦手な事にも挑戦してみるなど、課題に向き合う姿勢や力を養う。急な予定変更やイレギュラーな出来事に対しての、柔軟な対応能力を少しずつ身に付けていけるように支援していく。						
	言語コミュニケーション	適切な言語の形成と活用を目指して支援していく。適切な言語化が困難な場合は、言葉だけではなく指差しや身振り手振りやジェスチャーやサイン、絵カード等の個々にあったコミュニケーション手段を選択、活用して子供に合わせた視覚的な支援をしていき、状況に応じた適切なコミュニケーションスキルのアップを目指して行けるよう支援していく。周囲の人や物、出来事を視察し状況判断をしたり周りの人への思いやりの気持ちを持って行動するなどの、コミュニケーションスキルを磨いていく。						
	人間関係社会性	感情の形成と安定を図る。様々な活動や集団行動の中で、自分の気持ちや行動に対する意識や、人を思い信頼出来る気持ちを育む。様々な活動や遊びの中で、成功体験を積み重ねていき、自己肯定感を高められるように支援していく。悲しみや怒りや、気持ちの整理が上手くできない時など、個々のペースや気持ちに寄り添って解決方法を一緒に考えていき、納得が出来るまで丁寧に話をしていく。						
家族支援		家庭での子育てに関する困りごとや悩み事に対しての相談援助や、子供の成長についての具体的な内容の共有。			移行支援		同年代や年の離れた人々との地域での交流の場を設けて仲間づくりをする。ライフステージのステップアップを見据えた将来的な移行に向けた準備をしていく。	
地域支援・地域連携		子供にかかわる地域や関係機関との連携(保険・医療・福祉・教育)など相談支援専門員との生活支援や発達支援における連携を図る。			職員の質の向上		他の事業所との交流の場や見学会の機会を設ける。様々な研修会や勉強会に参加していき、知識の向上や振り返りの機会を与える。資格の取得に積極的に挑戦し、個々のキャリアアップを目指す。	
主な行事等		避難訓練(毎月一回) 防災訓練(消防団員の派遣等) 発達テスト(三ヶ月に一回) 面談(6ヶ月に1回) 夏祭り プール遊び バーベキュー クリスマス会 ハロウィンパーティー 卓球 いちご狩り みかん狩り レンコン堀体験 ぶどう狩り トマト狩り ランチ作り おやつ作り 芋掘り 工場見学 農作業 音楽療法 等々						